

女夫石遺跡発掘調査速報

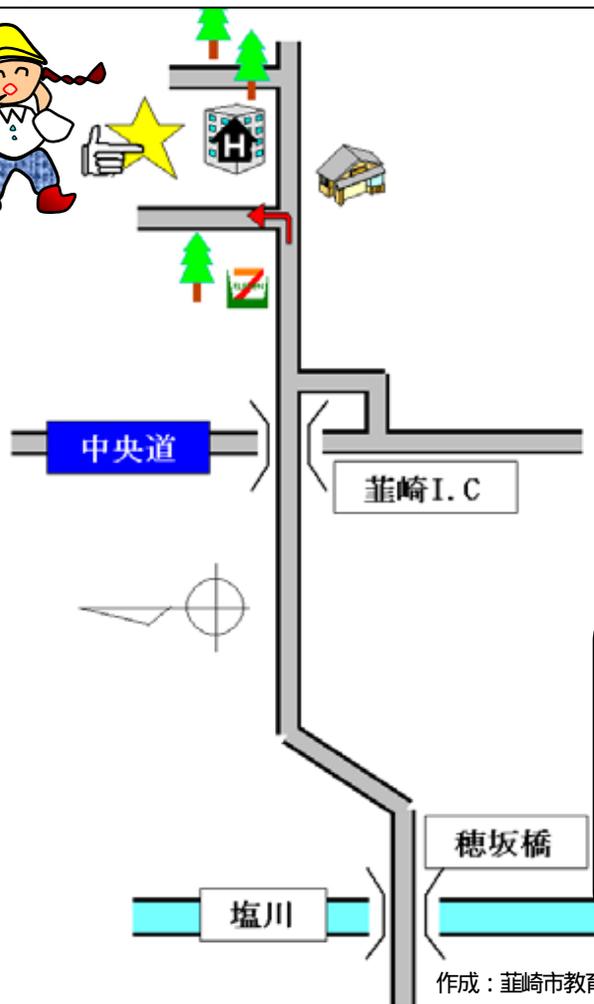
No. 7

暑い、HOTな日が続いています。そんな中、蕪崎市穂坂町の女夫石遺跡の発掘調査が始まりました。今回も不定期になると思いますが、速報をお知らせします。皆さん、お楽しみに！さて、今回の案内役はマキとシズリです。どうしてこの二人なのか？さー考えてみましょう！



ココが発掘調査現場です。蕪崎インターを過ぎて、セブンイレブンさんの先、右手にお蕎麦屋さんのあるちょっと狭い道を左に入ります。少し下ると右側に発掘調査現場が見えます。

発掘調査現場は穴が開いていたり、貴重な遺物があったりします。担当者の許可なく入らないでくださいね。掘った穴の中には深いものもあります。ケガしたら大変ですから～！



マキ：なんだか穂坂の蕪崎インターの近くで発掘調査をしているらしいよ。穂坂には飯米場（ハンマイバ）遺跡や上手沢（ウテザワ）遺跡なんかの有名な遺跡があるよね。

シズリ：そーだね。今回の遺跡は女夫石（メオトイシ）遺跡っていうらしいよ。見に行ってみようよ！何時代の遺跡が出ているのかな？「穂坂の牧」と関係ある時代かな？それとももっと古い時代かな？

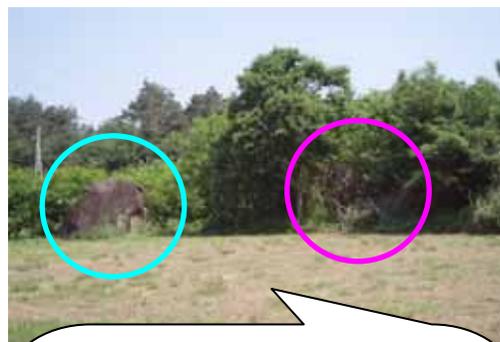
マキ：ところで、何で女夫石遺跡って言うんだらうね？

シズリ：遺跡のある場所は女夫石という地名らしいよ。その地名から遺跡の名前が付いたみたいだよ。

マキ：何で、女夫石という地名が付いたのかな？

シズリ：近所の人に聞いたんだけど、遺跡の北側を流れている唐沢の反対側に大きな石が二つ並んでいて、夫婦みたいだから女夫石と呼ばれるようになって、それが地名になったらしいよ。

マキ：遺跡も面白いけど、地名も調べてみると面白そうだね？ちゃんと意味があって地名は付いているんだね。 (つづく)



これが、女夫石です。片方はブッシュの中に埋もれてしまっていますが……。高さ3メートルはあるでしょう。地面の下に潜り込んでいることを考えれば、相当大きい石なことが想像できます。並んだ大きな特徴的な二つの石に「めおといし」と名付けた昔の人たちの感性に驚かされます。セカセカした現代人には、こんな風流な感性はないかもしれませんね。

